

令和 2 年度 事務事業評価シート

事務事業の概要・計画 (PLAN)

事務事業名	港湾施設管理事業	会計名称	一般会計		担当課	土木管理課	
		予算科目	8 款 4 項 1 目	事業番号	3670	所属長名	鍋田豊樹
事業評価の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 評価対象事業 <input type="checkbox"/> 評価対象外事業 (事業の概要・結果のみ)				担当責任者名	堀内英幸	
法令根拠等	港湾法、愛媛県港湾管理条例				実施期間	【開始】	令和/平成 17 年度
総合計画での位置付け	産業振興都市の創造 活力ある商業・工業の振興					【終了】	令和 年度(予定) <input checked="" type="checkbox"/> 設定なし
総合計画における本事業の役割	海上輸送の拠点である伊予港の整備促進及び適切な維持管理を行うことで、商工業、さらには地域経済の振興・発展に寄与する。						
事業の対象	港湾施設利用者			事業の目的	港湾施設の適正な維持管理に努め、利用促進を図る。		
事業の内容 (整備内容)	(1) 港湾施設使用料その他所属の諸収入に関する事項 (2) 港湾管理者から委託された事務に関する事項 (3) 港湾統計に関する事項 (4) 港湾内における水難救護に関する事項 (5) 港域内航路標識に関する事項			昨年度の課題に対する具体的な改善策	利用者である木材業者等へ木材チップ等の適切な管理について、指導及び助言に努めた。		

事業活動の内容・成果 (DO)

事業費及び財源内訳 (千円)							事業活動の実績 (活動指標)					
項目	前年度決算	当初予算額	補正予算額	継続費その他	翌年度繰越	決算額	項目	単位	前年度実績	2年度予定	9月末の実績	2年度実績
直接事業費	5,050	6,682	0	0	0	5,383	港湾施設 (野積場) 使用料 (歳入)	千円	2770	2893	1378	2877
財源内訳	0	0	0	0	0	0						
国庫支出金	4,529	3,426	0	0	0	3,767						
県支出金	0	0	0	0	0	0						
地方債	521	2,993	0	0	0	201						
その他	0	263	0	0	0	1,415	県港湾施設使用料徴収委託金 (歳入)	千円	4514	3411	1139	3752
一般財源												
職員の人工 (にんく) 数	1.30	1.30				1.30	県港湾統計調査 (歳入)	千円	15	15	0	15
1人工当たりの人件費単価	7,992	7,812				7,812						
※ 直接事業費+人件費	15,440	16,838				15,539						
主な実施主体	直接実施 (嘱託職員1人を含む。)		実施形態 (補助金・指定管理料・委託料等の記載欄)				給水カード販売収入等	千円	174	100	115	201
向こう5年間の直接事業費の推移 (千円)					3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	7 年度	5年間の合計		
					6,700	6,700	6,700	6,700	6,700	33,500		
成果指標	指標	今年度の港湾施設等使用料 ÷ 前年度の港湾施設等使用料			単位	区分年度	前年度	2 年度	3 年度	目標 毎 年度		
					%	目標	100	100	100	100		
	指標設定の考え方	港湾施設使用料が増加することにより、施設が有効利用されている。			⇒	実績	124	104				
	指標で表せない効果											

事務事業評価 (CHECK)

新たな課題や当初の改善策に対する対応状況 (今年度の途中経過)		ブレジャーボート係留桟橋の改修に伴い、工事期間中のボートの移動に関して、利用者への適切な連絡に努め、問題なく事業の推進に寄与している。									
事務事業の評価	自己判定 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1 この事業では施策の目的を果たすことができない。	3	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	B	事業成果・工夫した点 事業の苦勞した点・課題	桟橋改修の実施者である愛媛県と連携して、利用者への周知などに努めた。		
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1 社会情勢又は行政事務に必要である。	3						
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1 市の関与が適切である。	3						
		有効性	事業の効果	5 4 3 2 1 市民生活や行政内部の課題解決に向けて対応できている。	3						
			成果向上の可能性	5 4 3 2 1 既に相応の成果を得ているが、まだまだ成果向上の余地がある。	3						
			施策への貢献度	5 4 3 2 1 施策推進への貢献は多量である。	3						
	効率性	手段の最適性	5 4 3 2 1 現状では最善の手段であり、他の方策を検討する必要はない。	3							
		コスト効率	5 4 3 2 1 活動指標の実績も上がらず、効率的な手段の見直しが必要である。	3							
		市民(受益者)負担の適正	5 4 3 2 1 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民の負担は適正と認められる。	3							
	一次判定 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1 この事業では施策の目的を果たすことができない。	4	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	A		事業の方向性 所屬長の課題認識	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 事業継続と判断する。</li> <li><input type="checkbox"/> 事業縮小と判断する</li> <li><input type="checkbox"/> 事業廃止と判断する</li> </ul> (判断の理由) 港湾施設の適正な維持管理を行うため、事業継続とする。	
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1 社会情勢又は行政事務に必要である。	4						
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1 市の関与が適切である。	4						
有効性		事業の効果	5 4 3 2 1 市民生活や行政内部の課題解決に向けて対応できている。	4							
		成果向上の可能性	5 4 3 2 1 既に相応の成果を得ているが、まだまだ成果向上の余地がある。	4							
		施策への貢献度	5 4 3 2 1 施策推進への貢献は多量である。	4							
効率性	手段の最適性	5 4 3 2 1 現状では最善の手段であり、他の方策を検討する必要はない。	4								
	コスト効率	5 4 3 2 1 活動指標の実績も上がらず、効率的な手段の見直しが必要である。	4								
	市民(受益者)負担の適正	5 4 3 2 1 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民の負担は適正と認められる。	4								

施策を踏まえた判断	二次判定	<input type="checkbox"/>	一次判定結果は以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。	⇒ 指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断する。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。 野積場を利用している木材業者等へは臨港道路沿いに木材チップ等が散乱することがないように、指導を行うこと。また、利用促進を図ること。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。	

行政評価委員会の答申	外部評価	答申の内容
<div style="border: 1px solid black; height: 100px;"></div>		

今後の方向性 (ACTION)

の経営者判断会議	事業の方向性		コメント欄
	<input type="checkbox"/>	さらに重点化する。	
	<input type="checkbox"/>	現状のまま継続する。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	見直しの上、継続する。	
	<input type="checkbox"/>	事業の縮小を検討する。 事業を縮小する。	
	<input type="checkbox"/>	事業の休止、廃止を検討する。 事業を休止、廃止する。	